

環境報告書

令和8年5月報告

ふりがな	さんきょうでんきこうぎょうかぶしきがいしゃ		認定 ランク	☆☆☆
事業所名	三協電気工業株式会社			
認定部門	<input checked="" type="checkbox"/> ゼロカーボン推進部門 <input checked="" type="checkbox"/> ごみ減量推進部門 <input checked="" type="checkbox"/> エコ・コミュニティ部門			
概要	所在地	〒390-0806 松本市女鳥羽1丁目8番5号		
	代表者名	代表取締役 百瀬 友志紘		
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	事業内容 ；電気設備・電気通信設備・消防設備・管設備・情報設備・ 太陽光発電システム設備 事業規模 ；設立年月日；昭和31年9月18日 従業員数；25名		

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	<p>当社は、事業活動を行う地域の環境を守り、良好な環境の維持・向上に努めることを重要な責務と考えています。自社公園および会社周辺の環境整備を積極的に推進し、清掃活動や緑化活動、騒音・二酸化炭素の抑制など、地域の環境に配慮した行動を継続的に実施してまいります。</p> <p>また、日々の業務においても、エネルギーや資源の使用を最小限に抑える努力を怠らず、廃棄物の削減やリサイクルの推進など、環境への負荷を低減する取り組みを徹底します。社員一人ひとりが環境意識を高め、行動に移すことで、地域社会とともに調和の取れた環境づくりに貢献していきます。</p> <p>私たちは、環境保全と事業活動の両立を目指し、継続的な改善を通じて、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。</p>
環境に関する取組目標	<ul style="list-style-type: none">・二酸化炭素排出量の削減（太陽光発電システムの設置・アスエネにて数値の見える化）・廃棄物排出量の削減（プラスチックごみの排出量の削減）・廃棄物のリサイクルへの分別とリサイクル用品の積極的使用・LED化、空調機全般更新に伴う省エネ、節電、オゾンの破壊無し・環境配慮型車両（電気自動車・ハイブリッド車）の導入、低燃費・低騒音作業車使用・自社公園および会社周辺の緑化と花いっぱい運動への参加・自社公園、隣接する小川の清掃等を行い、ホタル等の飼育の環境を整備・合成洗剤の不使用、自然洗剤の使用・空気清浄機の設置による屋内環境整備対策・水道水に電解水素水整水器・ミネラル生成器を取付けて、社員の毎日の健康維持に貢献

具体的な取組内容と結果

- ① R7年度の再生可能エネルギーの発電状況は下記の通り
R7.4月～R8.3月；9箇所合計 516,822 kWh
(前年比の98.8%・1.2%減)
【発電量は一般家庭 約130世帯分の年間電気使用量に相当します。】
- ② R7年度のエネルギー・資源使用量の実績は下記の通り
 - ・電気使用量 39,894 kWh (前年比の119.4%・19.4%増)
 - ・ガソリン使用量 23,447 l (前年比の105.6%・5.6%増)
 - ・軽油使用量 2,808 l (前年比の108.6%・8.6%増)
 - ・灯油使用量 2,565 l (前年比の106.3%・6.3%増)
 - ・水道使用量 71 m³ (前年比の104.4%・4.4%増)
- ③ 温室効果ガス排出量の把握
アスエネにて算出のCO2排出量は下記の通り
R7.4月～R8.3月； 86.3 tCO2e
(前年比の108.5%・8.5%増)
- ④ 環境配慮型の設備・運用への挑戦
 - ・電気自動車導入 (4台)
 - ・カーシェアリング活用 (5台)
- ⑤ グリーン製品購入の推進
R7年度アスクール購入額；全体 72.6 (千円) (内グリーン製品 38.5 (千円) ・53%)
- ⑥ ペーパーレス化への取組
 - ・産業廃棄物マニフェスト電子化率 94.5%
- ⑦ 廃棄物削減・適正処理
3R協定報告書によるごみ量の把握
R7年度産廃排出量； 129.18 m³ (前年比の97.2%・2.8%減)
- ⑧ 地域環境保全活動への参加
 - ・芥子坊主山・市民の森整備推進協議会への寄付
 - ・ネイチャリングフェスタへの寄付と支援
 - ・花いっぱい運動への参加
 - ・会社所有林地 (安曇野市山林) の下草刈りと樹木の伐採の実施
- ⑨ 地域共生・防災への取組
 - ・自社敷地内公園整備, 井戸整備
 - ・松本市災害時サポート事業所として登録 (松災サR04-001号)

<p>課題・問題点と その改善に向けた取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社用車およびカーシェアリング使用車への電気自動車の導入、室内暖房設備のエアコン化、人員増加等により、電気使用量が増加しております。また、工事受注額の増加に伴い事業活動量が増えたことから、CO2 排出量は前年比 108.5% (8.5%増) となりました。どのような状況下においても省エネルギー化に取り組み、排出量削減に努めてまいります。 ・廃棄物排出量については、工事受注額の増加に伴い増加要因はあったものの、適正処理および分別徹底に努めた結果、前年比 97.2% (2.8%減) となりました。 ・昨今の石油製品情勢を鑑み、ケーブルや材料等について適正な見積り・仕入れを行うよう社員へ周知徹底を図っています。
<p>その他、 アピールポイント等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の⑨にも記載しましたが、近年の災害事情を踏まえ、会社隣の敷地に井戸を掘り、公園を作りました。地域の方の憩いの場と災害時対応スペースとして活用できればという思いです。松本市災害時サポート事業所に登録させていただき、防災用具・食品等備蓄品を備えておく防災倉庫も 4 棟設置いたしました。また、毎年実施しているホテル観賞会について、今年からは整備した公園を活用し、ご近所の方々も招いた地域交流の場として開催する予定です。 ・取組の④でも記載しましたが、電気自動車導入とカーシェアリング活用に取り組んでおります。 ・長野県 SDGs 推進企業(第 21 期)として、目標 7 と目標 11 について、業務上発生する CO2 の排出量削減、残業時間の短縮、産業廃棄物の排出の抑制を重点的な取組目標として掲げております。